

2015 年全日本ラリー主催者意見交換会議事録

平成 27 年 2 月 22 日 10 時より ニュートーキョーにて
出席者 主催者＝唐津 3 名、久万高原 2 名、若狭 3 名、洞爺 2 名、
福島 3 名、群馬 2 名、ラリー北海道 1 名、新城 3 名。
J R C A 長瀬、中原、佐藤、中島、伊吹、河野、武井、
富田、斉藤、伊藤。

①ギャラリーについて

【ファン会員からのお手紙】

1. セレモニアルスタート時のプログラム販売や観戦場所の案内について

よくセレモニアルスタートなどの現場で訊かれることがあります。「何をやっているの?」と「何処で走っているのを観られるの?」の二つです。「何をやっているの?」は問題外としても、「何処で観られるの?」ということに対してはセレモニアルスタートの時にはプログラム販売や観戦場所の案内など掲示するようにできないでしょうか?

2. ギャラステが 2 本設定されている時の走行順。

順番がよく判っていない観客の方が多かったように思えます。スターティングリストの配布や、ギャラリー用掲示板にて何か案内を出せないでしょうか?

3. クラス標記ステッカーについて

特別規則書に貼付位置はありましたが、色は統一されないのでしょうか? 黒や白などありましたが、去年のゼッケンナンバーのように蛍光色などの案はありませんでしたか?

4. サービステントのチーム名表示

サービスパーク内もお客さんが入れるのはラリーの特性の一つだと思います。しかし、どの選手が、どこでサービスを受けているのかがわかりにくい。パドック案内図やサービステントに選手の名前やチームフラッグなど、分かりやすくして欲しい。この位の些細な(?) ことなら、改善の余地はあると思います。揃いの決まった看板だと、より分かりやすいかもしれません。

【議題】

一般観戦者より要望が高いギャラリー向けの情報公開や案内看板、リアルタイムの S S タイム、順位、タイム差表示などについて、各主催者の取り組みや意見を聞いた。

【議事】

- ・ギャラリーへの事前情報開示は、全主催者ともホームページや SNS で開示を行っている。それ以外の方法として、ラジオでの告知、新聞の折り込みなどを行っている主催者もあった。
- ・ホームページでの情報開示に関して、J R C A と RALLY STREAM で協力し、各主催者から

集めたギャラリー情報を、一括して公開していくことも一つの方法であることが確認された。

- ・ラリー開催現場でのギャラリー情報の開示については、A 3 中折の紙に通過予定時刻等を印刷したものを配る主催者もいた。ただし全体的には、現場でのギャラリー対応は、ギャラリー受付は設けているものの、特に行っていない主催者のほうが多いようだ。
- ・全日本ラリーなのだから、主催者は競技をコントロールすると同時に、お客様をコントロールすることも大切な役務である。『見て欲しい』『見せて欲しい』、この2つの要望がきちんと実現できるように主催することが大切、との発言があった。

②ヘビーウェットでのSS実施の問題

事前に把握しにくい集中豪雨時のSS（特にターマック）のタイムトライアル実施のあり方について、主催者の意見を聞いた。

【議事】

- ・急激な気候の変化によりヘビーウェットとなった場合、Sタイヤで走るのは危険との声が選手から出ている。
- ・走行をするかしないかの判断は競技長が行うが、ステージコマンドーの判断を8割くらい尊重する。どういう時にどうすると言った判断基準を設けるのは難しい。経験によるところが大きい。
- ・選手の意見を聞いても、その時点の順位やタイム差によって客観的な判断ができないので主催者の責任で判断すべきと考える。

③開催戦数について

全日本選手権の開催戦数が9戦という現状は、参加者の経済状況が限界に来ていることから、各主催の意見を聞いた。

【議事】

- ・現在全9戦で開催されているが、現状の経済状況下で参加者の負担を考えると、戦数を減らす方向で考えたほうがいいのか、との意見が出た。
- ・地方選手権の開催地区区分が5つであることから、5戦でもいいのではないか、との意見が出た。
- ・JAFの規則で最大10戦までとなっており、削るのは難しいだろう。しかし、有効戦数を定めることはできるかもしれない。
- ・全日本各戦で実施されているオブザーバーレポートを生かしてラリーの質の向上を図れば全日本ラリーの質の均一化を図ってはどうか。
- ・全主催者が全部のレポートを見られるようにし、自分の至らない点をうまくやっているところに見に行くなど、参考にできるようにしてはどうか、との意見が出た。

④ エントラントやギャラリー・メディアに対して

エントラントやギャラリー・メディアに対しての意見を聞いた。

【議事】

- ・メディアオフィサーのラリー取材経験の度合いが、各ラリーによってばらつきがみられる。主催者もそのメディアが経験豊富なのかどうか、判断が難しいケースもある。各ラリーで審査委員会にメディア名簿を提出しているの、それを集約してはどうか、との意見が出た。
- ・コース内での撮影に関しては、主催者のリスクのもとで許可を出している。タバードメディアとクレデンシャルメディアは、きちんと分けるべき。過去の取材実績を、どこかで管理できないか？ JRCAでメディアの経験をまとめられないか、検討することとなった。
- ・メディア登録の際、掲載実績（見本誌）を提出してもらおうようにすることも、メディア分類の際には有効なのでは？
- ・オフィシャルメディアの中に、危ない場所に立って撮影している者が見受けられた。常連メディアが注意して場所を移動してもらったこともあった。

⑤ その他

【議事】

・ エントラントに対する要望。

関連イベントには協力してほしい。

レキ、本番のリエゾンで、走行スピードが高いと思われるクルーが見受けられる。ゆっくり走っているつもりでも、ラリー開催地域の方々には、カラーリングもあって、結構な迫力で見られてしまう傾向にある。そうしたことも頭に入れたうえで、走行してほしい。WRCのようにスピードチェックも必要なのではないかな？

・ レンタカーでのレキ

ミスコースが多発した例があった。ミスコースしそうな場所にはノボリを立てるなどの対処がほしかった。

レンタカーでレキをさせる際は、できるだけ早い段階で全体図を公表してほしい。全体図が公表されていれば、ミスコースはしないはず。事前にコースを把握することも、エントラントの準備事項に入るはず。

レキ終わったらタイヤがツルツルだったり、レンタカーの車種を指定してくる選手がいた。

・ 参加申込について

8割くらいがちゃんと書けていない。

申込書はパソコンで記入できる状態になっているのだから、わざわざプリントアウトして送ってこなくてもいい。印鑑は参加受付時の捺印で大丈夫なようにすれば、こうしたこともなくなるのではないか。

・ Rally Stream について

Rally Stream 主催の染宮氏より、書面にて説明および要望が行われた。

ファン向けのサイトで、ラリー車の位置情報サービス、速報やスターティングリスト、出場選手のプロフィールなどを掲載している。

全車 iPhone にしてくれるとうれしいが、なかなかそうはいかないので、SOS トラッキングとして使用するには難しいだろう。

Rally Stream を主催者として積極的に活用してもらえれば、負担も減ると思われる。ここにくればラリーの情報が得られるということになれば、ファンにとっても便利なツールとなり得るはず。そこで、Rally Stream より各主催者へのお願いとして、

- ①各ラリーへの Link の許可
- ②位置情報を出すために、早めの全体図取得
- ③Start List の送付。Day2 のものも送ってもらえれば、Day2 でギャラリーが出走順を把握できるようにしやすくなるはず。

資金提供の依頼も行われたが、個別対応することとなった。

今後、染宮氏より各主催者に、要望を連絡することとなった。

・ セレモニアルフィニッシュについて

極力セレモニアルフィニッシュを行うことで意見が一致した。リグループを活用するなど、ルールをうまく活用してセレモニアルフィニッシュを行いたい。

・ スタート時の路面掘削状況について

スタートライン上の路面が掘れてスタートできなくなる事象が報告された。オフィシャルには選手をスタートさせる義務があるのだということを、スタートのオフィシャルに周知徹底させる必要がある。そのうえでルールを理解させ、対応を判断するのが大事。

・ JRCA 主催者部会からの提案

主催用のオフィシャルマニュアルを、理解しやすい形でまとめたいとの申し入れが各主催者に行われ、重ねて部会より協力を要請した。

※参考資料 昨年のラリーでの気付き事項

項目	内容	MEMO
事前情報	<ul style="list-style-type: none"> ① 事前にコースを公開して欲しい。 ・直前まで非公開だと、余裕がなくミスコース多発する ② 特別規則書の公開をもっと早くして欲しい。 ③ 観客に対する、事前の案内、現地での案内が不足していたケースがあったので、観客の立場も考慮してラリーの構成を組み立てて欲しい。また、情報配信の一元化も検討して欲しい。 	
レッキ	<ul style="list-style-type: none"> ① レンタカーによるレッキ時の注意点 ・レンタカーは、トリップの誤差が大きく、ミスコース防止の対策をして欲しい。 ・レンタカー配置が混雑しすぎて、出発が遅れることもあるので、引き渡しの時間も含めて余裕を持ったスケジュールにして欲しい。 ・選手としては、特に夏場のレンタカーによるレッキは助かる。 ② ロードブックの形状、目標物、距離を正確にして欲しい。 ③ レッキ中のコンビニでの時間調整指示は、周辺住民の印象を悪くする可能性があるので慎重に検討して欲しい。 	
スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> ① 参加者は、金曜日から現地に居るので、レッキ、車検等無駄な時間を極力排除したスケジュールを立てて欲しい。 ② 表彰状等が間に合わない場合、後日発送等スムーズな運営をお願いします。 ③ ラリー北海道で全日本とAPRCと違うスケジュールにしたのは、好評だった。 ④ 木曜日のメディアポイントの下見は、スムーズな取材準備を行うことができ有効だった。 ⑤ 救急救出訓練は、いい取り組みであるが、関係者への告知が不十分のケースがあった。 	
コース	<ul style="list-style-type: none"> ① 沿道のギャラリーサービスもラリー振興にはメリットがあるので、そのような配慮があると良いと思う。 	

	<p>② リエゾンでの時間調整場所が、民家の周辺の道路など不適切になるケースもあり十分考慮した設定にして欲しい。</p> <p>③ 人が集まる場所や長時間待機する場所は、選手もメディアやギャラリーもトイレが必要なので考慮して欲しい。</p>	
サービス	<p>① 各サービステントにおけるチーム名ボードの設置を推進して欲しい。</p>	
競技内容	<p>① 30秒間隔スタートの場合、スタート&ストップでタイム記録が遅れ気味になることがあるので、熟練したオフィシャル配置やトレーニングが必要だと思われる。</p> <p>② 2ループSSとなると、クラッシュ等でスケジュールが混乱し、SS以外の場所での競技車同士の衝突の危険性があるので、十分考慮した設定として欲しい。</p> <p>③ 競技が不可抗力で中断もしくは変更になった場合、速やかに正確な情報を提供して欲しい。</p> <p>④ 集中豪雨の可能性は、雨雲レーダー等である程度予測できる場合、オフィシャルも事前に想定したシミュレーションをして、選手やオフィシャルに危険の無いよう準備して欲しい。特に、競技長と現場のステージコマンダー間で選手の安全性を考慮した意思統一を図っておいて欲しい。</p> <p>⑤ 重篤な負傷を負ったケースでSOSが出せず、処置が遅れることがあったのを教訓にクルーおよび主催者双方で、人命最優先の姿勢を今一度認識すべき。</p> <p>⑥ エントリーリストは発表後、前走車が遅くて問題ある場合、当該クルーが客観的なデータを元に、出走順などをアピールすることもクルーの責任。但し、根拠のない主張は選手としても控えるべき。アピールがあった場合、主催者は全体の競技進行の混乱を回避するためクラスを越えたスタートリストも考慮して欲しい。1～2台の入れ替えだけでは、解決にならないことも認識して欲しい。</p> <p>⑦ 競技車のマフラーの騒音規制があるが、0カーや00カー、オフィシャルの車の一部に騒音の大きいマフラーをつけている車両が見ら</p>	

	<p>れることがあり、住民からの苦情があるとラリーのイメージが悪くなるので、十分配慮すべきではないでしょうか？</p> <p>例えば、整備が不十分な古い車両や保安基準を逸脱したような車両での0カー・00カー使用は避けるべきではないでしょうか!?</p> <p>シリーズスポンサーとしての、コースカーの導入はできないか？</p> <p>⑧ セレモニアルスタート、フィニッシュでの箱乗りについて、悪い印象を持つ方もいるので、対応を選手および主催者間で統一してはどうでしょうか？特に動画サイトでは、何度も再生されるので、注意が必要。</p> <p>⑨ 動画サイトでの全日本ラリーでのクラッシュシーン(インカーや外撮り)は、地元の関係者や自治体、警察関係者に悪い影響を及ぼす可能性があるため、注意喚起が必要ではないでしょうか？</p> <p>⑩ 速報のタイムと正式結果と異なることがあるのは仕方ないが、メディアが間違った情報を発信することがあるので、速報タイムは間違っていたら、速報を訂正することも必要ではないか？また、メディアには、速報タイムは暫定なので必ず正式結果を公表するよう強くアピールすることも必要。</p>	
<p>オフィシャル</p>	<p>① グラベルのスタート位置で、掘れる場所は予め解っているので、オフィシャル側で十分考慮すべき。オフィシャルの熟練も必要ではないでしょうか？</p> <p>② CROの知識、経験不足は、参加者のデメリットが大きいので、経験不足のCROは、ベテランと複数にする等人選には十分注意して欲しい。</p> <p>③ オフィシャルの無線のマナーが悪いことがある、特に私語や暴言等が傍受されていることもあるので十分気を付けて欲しい。</p>	